

風早の本だより

北条高等学校図書委員会

《7月号》

平成26年7月14日発行



3-3 南 淵 郁 実
2-3 谷 川 龍 俊

まもなく夏休みです。一学期も終わり、心機一転！新しいことに挑戦してみようとしている人も多いのではないのでしょうか。本を読んで、いろいろな視点で物事を考えてみましょう。読書を通して新しい発見があるかもしれません。きっと「やりたいこと」が見つかるはずです。

新任の先生方のおすすめの本とメッセージ

先生方、ありがとうございました。



光宗 宏和教頭先生（教科：国語）

① おすすめの本

書名：「宇宙は本当にひとつなのか 最新宇宙論入門」

著者：村上 斉 出版社：ブルーバックス

この世に存在するすべての物質は原子（クォークと電子）からできています。ということは、宇宙とは原子の集合体である、と一般ピープルは考えていました。

ところが、21世紀になってその考えを覆す大発見がありました。宇宙にあるすべての星の原子を集めても、宇宙の全エネルギーの4%にしかないという発見です。

では、残りの96%を占める原子以外のものとは何でしょうか？それは「暗黒物質」と「暗黒エネルギー」と呼ばれるものだそうです？「暗黒物質」は今私たちの周りにも存在して、私たちの身体をスーっとすり抜けているものだそうです？？しかも、「暗黒物質」は異次元から来たのかもしれないということですか？？？

SFやアニメの話ではありません。世界最先端の研究をしている東大の村山斉という教授がそう言っています。これが2011年現在最も有力な仮説だそうです。ぜひ読んでみてください。

② 北条高校生にメッセージ

「すべての物質はすごく小さな1種類の粒子からできている」という古代ギリシャの哲学者デモクリトスの考えは、2000年以上注目されませんでした。なぜなら、誰も「すごく小さな1種類の粒子」を見ることができなかったからです。しかし、デモクリトスの考えは、やがてアトム（原子）という概念になって現代の一般ピープルの常識になっています。

宇宙の96%は「暗黒物質」と「暗黒エネルギー」からできているという仮説に、「？→？→？→？→？→？→？」と思ってしまう私を含めた現代の一般ピープルは、もしかしたら、デモクリトスの仮説を信じなかった古代ギリシャから2000年間に渡る一般ピープルと同じなのかもしれません。（それはそれで別に必要以上に悲観することはありませんが……）

君たちの子供が学校に通い始める頃には、「宇宙の大部分は『暗黒物質』と『暗黒エネルギー』からできていて、異次元も存在する」とは、教科書に書かれた常識となっているかもしれません。私たちが存在するこの宇宙の大部分については、私たちはまだほとんどわかっていないのだということです。

芳之内 亮教頭先生（教科：地歴・公民）

① おすすめの本

書名：「村上海賊の娘」（上・下巻）

著者：和田 竜 出版社：新潮社

今年の3月までしまなみ街道沿いの上島町に住んでいたため、村上水軍についてとても興味を持っていました。第一次木津川口の戦いを題材にした本作は、当時の村上水軍が果たした役割を浮き彫りにしているほか、陸戦とは異なる海戦のダイナミックさを伝えています。本作は2014年本屋大賞を受賞し、2014年上半期のベストセラーにもなっています。ヒロインである景（きょう）の縦横無尽の活躍に一喜一憂です。

② 北条高校生にメッセージ

「今年はジャンルを問わず本を読んで読みまくるぞ」という決意もむなしく日々の雑事に追われ、本を読むことができない毎日が続いています。しかし、読書は映像とは異なり、私たちを未知の世界へいざなってくれるし、先人の様々な生き方に触れることができます。テレビや映画、インターネットもいいけれど、自分だけの世界に思いをはせるのもよいものです。みなさんも手軽に本を手にとってみましょう。

☆ 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介 ポスターより

路上のストライカー マイケル・ウィリアムズ 著 さくま ゆみこ 訳

岩波書店

過酷な運命に見舞われ、故郷ジンバブエを追われた少年デオは、南アフリカの路上でもう一つのワールドカップに出会う。疾走感あふれる物語。

アヴェ・マリアのヴァイオリン 香川 宜子 著 角川書店

板東俘虜収容所、アウシュヴィッツ、そして21世紀の日本……。戦火をくぐり、数奇な運命に翻弄された一丁のヴァイオリンが生み出す感動の物語!!

生命とは何だろう？ 長沼毅 著 集英社インターナショナル

最初の生命はどこで生まれたのか。生命は人工的に創りだせるのか。そもそも生命とは何なのか。わかりやすく生命の謎を解説。

☆ 新 着 図 書 一 覧